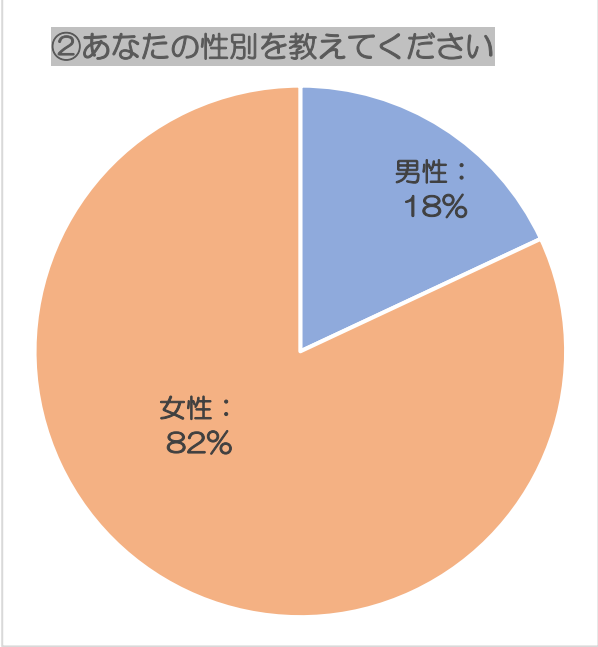
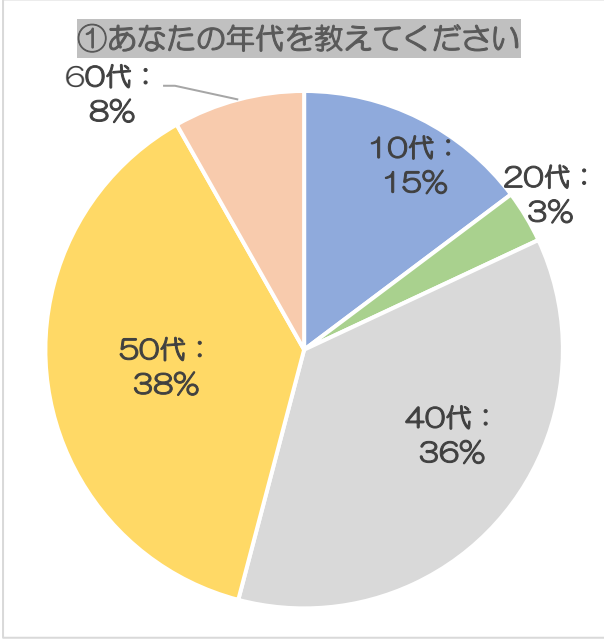
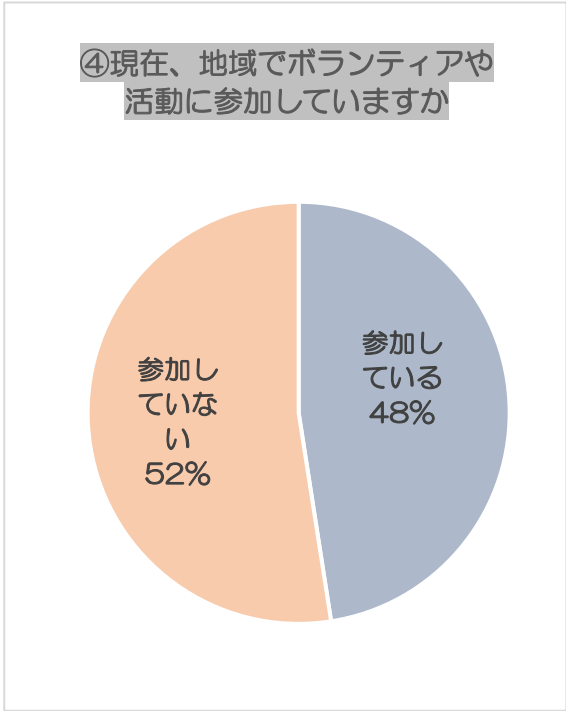
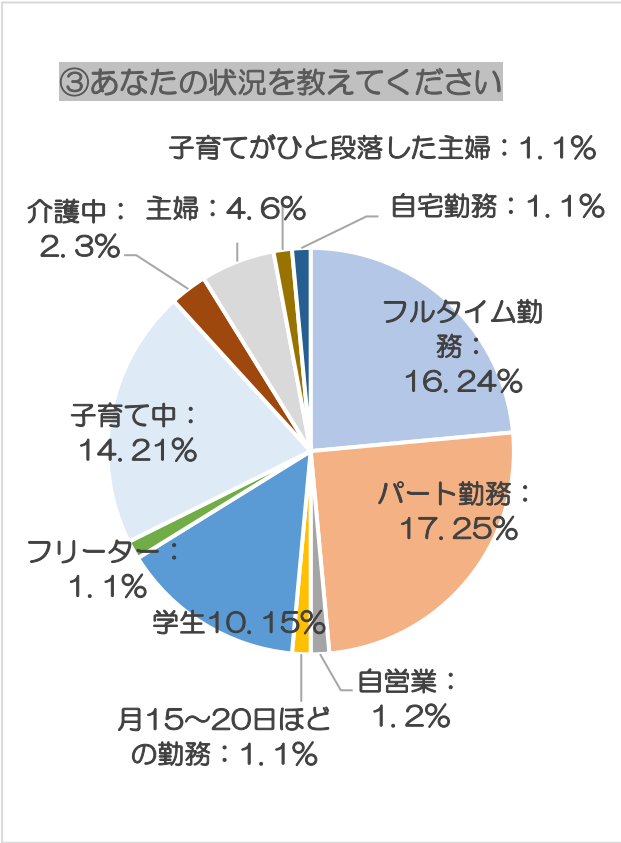


緑ヶ丘地域アンケート結果 (R5.7.21~7.31 実施)

地域活動や地域課題等について、調布市立第八中学校の学校協働本部の方にご協力いただき、アンケートを行いました。(回答：61人)



⇒10~60代の幅広い世代の方に回答いただき、男女比率は女性が約8割、男性が約2割でした。



⇒就労されている方が約35%、介護・子育て・主婦と役割を担いながら自宅にいる方が約20%、学生が10パーセントでした。（※その他、項目未選択の方が約35%）

④の設問ではボランティアや地域活動をしている方が約半数でした。

⑤ ④で「はい」と答えた方へ。（自由記述）

どんな活動に参加していますか。

- ・PTA ・自治会 ・健全育成推進委員会 ・学習支援 ・子ども食堂 ・民生児童委員
- ・子どもの卒業校での手伝い ・地域活動団体の手伝い ・知的障がい者就労支援施設
- ・太鼓サークル ・ボランティア

⑥ 参加のきっかけを教えてください。（自由記述）

- ・知人の紹介 ・子どもを介して ・学校の役員決め ・当番制 ・チラシ
- ・地域からの紹介 ・家族が参加していた ・PTAに関わっていた

⑦ ④で「はい」と答えた方へ。

活動していて感じることはありますか。（自由記述）

知り合いが増えた

- ・地域に知り合いが増えた。また普段知り合う機会がない方とも知り合いになれた。
- ・地域の活動に行く機会が増えた。 ・年代を問わずいろいろな方との交流が増えた。
- ・子どもの学校の様子が見える。 ・楽しみが出来て以前よりも元気になった。
- ・地域にコミュニティができて嬉しい。子供が見守られている感じがする。

地域を知れた

- ・地域の様子や状況がよくわかった。 ・地域の力強さを感じた。
- ・お手伝いを通して築いた関係から、新しい活動に繋がった。 ・様々な情報が知れた。

楽しい、充実感

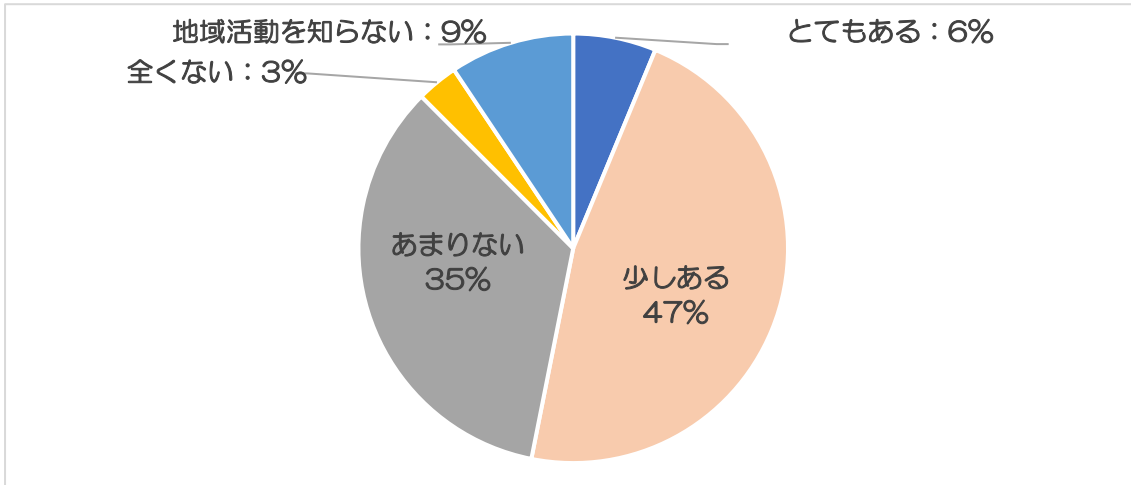
- ・単純に楽しくて参加している。
- ・学生の学びの手助けになるし、自分自身の気づき、スキルアップや楽しみにもなっている。
- ・地域や子ども達のために頑張ってくださっている方がいることへの感謝を実感した。
- ・PTA活動とは関係なく、公平な立場の存在として役に立てていると感じる。

課題等

- ・ボランティアの高齢化が進んでいる。地域活動する方々の若返りが必要。
- ・メンバーの広がりが薄い、どこも同じような顔ぶれで新しいメンバーが入らない。

- ・参加者に偏りを感じる。
- ・役員も参加者も高齢化している。ここ最近、若い人が興味を持って新しい視点で活動を広げてくれているので応援したい。

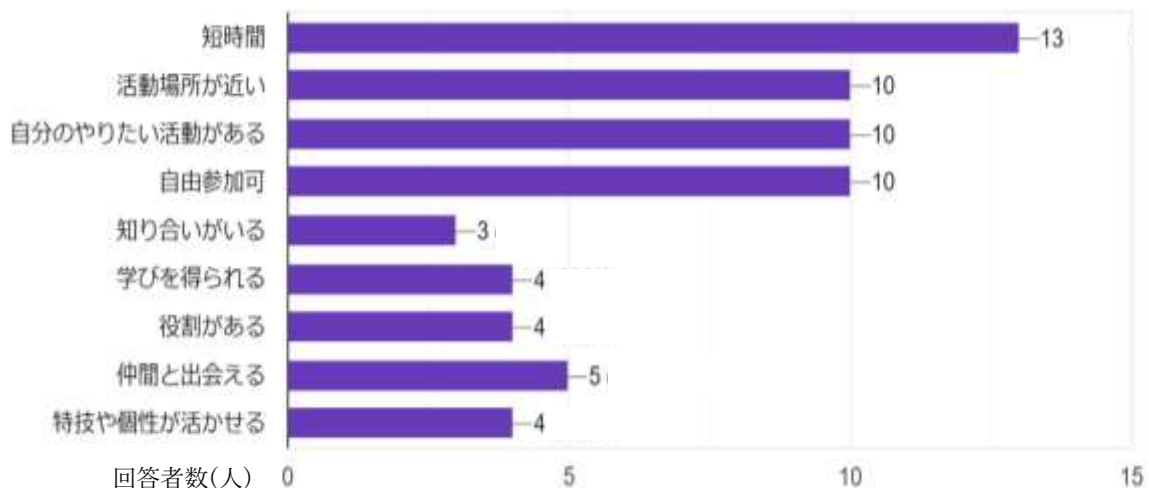
⑧ ④で「いいえ」と答えた方へ。地域活動に興味がありますか。



⇒現在地域活動に参加していないが、興味がある方が約50%と半分の方は興味があることが分かりました。また地域活動自体を知らない方が約10%いました。

⑨ ⑧で「とともある」「少しある」と答えた方へ。

どんな条件であれば参加したいと思いますか。(3つまで選択可)



⇒地域活動に興味がある方は、短時間・自分のやりたい活動がある・活動場所が近い・自由参加可などの条件が揃うと参加したいという結果でした。

⑩ この地域で気になることはありますか（自由記述）

子どもの行ける場・遊ぶ場がない

- ・公園が少ない、ボールを使える公園が少ない。以前に比べて公園や広く遊べる広場が減った。（13名）
- ・小中学生が集まって遊ぶ場所が少ない。児童館の飽和状態。
- ・こども食堂があると良い
- ・ヤングケアラーがいるので、利用できる年齢層をひろげたり、情報発信をしてほしい。
- ・小、中、高校生が、自習学習できる場が少ない。

子どもの変化

- ・小中学生の学力低下が目立つ。補習学習の場がない。
- ・特別な支援が必要な生徒さんが増加してきていること。
- ・子どもたちが外で遊ぶ声が年々減っている。そのせいか、道路でのマナーも低下したように感じる。（歩き方や自転車の乗り方、止め方など）

地域

- ・一人暮らしのお年寄りが多い。
- ・高齢者のみの家庭（単身あるいはご夫婦）が多くなっているように感じる。
- ・若い人が活動に参加できない状況。
- ・子どもが小・中学校に通っていた時は地域の交流や様子がわかったが、高校生以降になってからは地域の様子がわからない。

自治会

- ・自治会イベントなどに初めて参加した人を、いかにして巻き込んでいくか、継続的に関わってもらえるような仕組みや雰囲気づくりが必要。
- ・自治会が廃れてきている。もっと地域のコミュニティの結びつきを強くして、安心して協力し合える地域にしたい。

住環境

- ・都道整備による環境の変化
- ・特に仙川の川あたりの坂の街灯が薄く暗く、古い都営住宅あたりも暗いので子ども達の部活帰りや塾帰りがとても心配。街灯を増やしてほしい。
- ・徒歩圏内5分以内にコンビニ、気軽に行ける小さなスーパー、お店があるとより良い。

こんなのあったらいいな

- ・認知症でうろろうしている人がいて、同じ人がいつも気にしてあげています。地域でも支えていけるように、集合住宅やマンションなどに積極的に、認知症について出前講座などしてはどうか。
- ・福祉センターのような公共の場所にカフェのような機能がほしい。
- ・子ども達と歳が近い為、いろいろな話を聞くが、その中でなかなか大人には言えそうにない事を聞くこ

ともある。大人と子どもの中に立つ存在が、子どもと関われる場や子どもと地域がもっと関わる場所があると良いと思う。

- 子どもに限らず高齢者も集える場所があるといい
- ボランティアをしたいなと思っている方は、フルタイムで働いている人の中にもいますが、情報や手続きの手順などが届いていないのではないかと。どんな生活環境でも参加しやすい時間帯でできるものがあると良いだろう。また行事の参加者がのちにボランティアとして参加できると良いのではないかと。
- 寺子屋のような皆が支え合っているような場所があるといい。

その他

- ドッグランが少ない • みんなの森の活用を考えたい
- 団地建替えにより空き家になった住居に勝手に入れないように囲いをして欲しい。
- 地域福祉センターの活動などを知らない人々の誘い出し方法
- 虐待、ネグレクト、孤食、ヤングケアラー、不登校、引きこもり

⇒子どもが安心して遊んだり勉強したりできる場が少ない、子どもたちの変化、一人暮らし高齢者の見守り、自治会活動の縮小、地域の治安等様々な課題が地域の関心事として見えました。地域福祉活動計画の策定・推進を通して住民の皆様とより良い地域づくりを考えていきます。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました☆